

特集号の論文募集

「XRのためのデバイス・応用技術」特集 Device and Application Technologies for XR

論文誌 C (電子・情報・システム部門誌) では、2026 年 3 月号に標記特集を企画します。近年、拡張現実感 (Augmented Reality: AR)、人工現実感 (Virtual Reality: VR)、複合現実感 (Mixed Reality: MR) を総称する XR 技術が急速に進化し、新たな応用分野が次々と登場しています。この技術革新に伴い、XR デバイスに求められる要件も高度化・多様化しており、ディスプレイ、センサー、光学素子、半導体、エネルギー効率など、基盤デバイス技術の重要性が高まっています。さらにこのような革新的なデバイスをどのように応用していくのかといった利用法やシステム技術の重要性も増してきています。

本特集では、これら XR デバイス技術に関する最新の研究成果を広く募集します。以下のキーワード (これらに限定されません) を参考に、広範囲な研究領域からの投稿をお待ちしています。なお、査読進捗・投稿件数などの都合で特集号掲載できない論文は、一般論文として取り扱われます点、あらかじめご了承ください。

キーワード： AR/VR/MR デバイス、ホログラフィックディスプレイ、ライトフィールドディスプレイ、空中ディスプレイ技術、光学設計、センサー技術、低遅延通信技術、インタラクティブデバイス、デバイス応用システム、デバイス活用アプリケーション等

投稿締切： 2025 年 5 月 26 日 (月) (締切厳守)

詳細は電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。

<https://www.iee.jp/pub/post/> から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

投稿方法： 投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://submit.iee.or.jp/main/cgi/sstk-top.cgi> からご投稿下さい。電子投稿・査読システムの「論文・資料・研究開発レターの投稿」画面において「論文誌 C」を選択し、次に原稿種別 (論文/資料/研究開発レターのどれか) を選択した後、「原稿投稿」画面において「XRのためのデバイス・応用技術」特集を選択してください。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

ゲストエディタ： 小池 崇文

法政大学

〒184-8584 東京都小金井市梶野町 3-7-2

E-mail: takafumi@hosei.ac.jp

企画協力： 電子デバイス技術委員会